

1370				保険薬局として認定される条件を、薬局の設備と関連づけて具体的に説明できる
1371			処方せんの受付	処方せん(麻薬を含む)の形式および記載事項について説明できる
1372				処方せん受付時の対応および注意事項(患者名の確認、患者の様子、処方せんの使用期限、記載不備、偽造処方せんへの注意など)について説明できる
1373				初来局患者への対応と初回質問表の利用について説明できる
1374				初来局および再来局患者から収集すべき情報の内容について説明できる
1375				処方せん受付時の対応ができる
1376				生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する
1377				患者が自らすすんで話ができるように工夫する
1378				患者との会話などを通して、服薬上の問題点(服薬状況、副作用の発現など)を把握できる
1379			処方せんの鑑査と疑義照会	処方せんが正しく記載されていることを確認できる
1380				処方せんに記載された処方薬の妥当性、適量用法、分量、用法、用量、薬物相互作用などの知識に基づいて判断できる
1381				薬歴簿を参照して処方内容の妥当性を判断できる
1382				疑義照会の行い方を身につける
1383				疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする
1384			計数・計量調剤	薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙できる
1385				処方せんの記載に従って正しく医薬品の取りそえることができる
1386				錠剤、カプセル剤などの計数調剤ができる
1387				代表的な医薬品の剤形を列挙できる
1388				医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる
1389				代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる
1390				同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる
1391				異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる
1392				代表的な同種・同効薬を列挙できる
1393				代表的な医薬品を色・形・識別コードから識別できる
1394				一回量(一包化)調剤を必要とするケースについて説明できる
1395				一回量(一包化)調剤を実施できる
1396				錠剤の粉砕およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる
1397				散剤、液剤などの計量調剤ができる
1398				調剤機器(秤量器、分包機など)の基本的取扱いができる
1399				毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤と取扱いができる
1400				特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する
1401				自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる
1402			計数・計量調剤の鑑査	調剤された医薬品に対して、鑑査の実務を体験する
1403			服薬指導の基礎	適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる
1404				薬歴管理の意義と重要性を説明できる
1405				薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる
1406				薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる

1407				妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる
1408				患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる
1409				自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる
1410			服薬指導入門実習	指示通りに医薬品を使用するように適切な指導ができる
1411				薬歴簿を活用した服薬指導ができる
1412				患者向けの説明文書を使用した服薬指導ができる
1413				お薬手帳(健康手帳)を使用した服薬指導ができる
1414			服薬指導実践実習	患者に共感的態度で接する
1415				患者との会話を通じて病態(服薬が原因/ライアンス)、服薬上の問題点などを把握できる
1416				患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる
1417				患者との会話を通じて使用薬の効き目/副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する
1418				入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる
1419			調剤録と処方せんの保管・管理	調剤録の法的規制について説明できる
1420				調剤録への記入事項について説明できる
1421				調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる
1422				調剤後の処方せんへの記入事項について説明できる
1423				処方せんの保管、管理の方法、期間などについて説明できる
1424			調剤報酬	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる
1425				薬剤師の技術評価の対象について説明できる
1426			安全対策	代表的な医薬事故訴訟あるいは調剤過誤事例について調査し、その原因について指導薬剤師と話し合う
1427				名称あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる
1428				特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列挙できる
1429				調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる
1430				調剤中に過誤が起こりやすいポイントについて討議する
1431				過誤が生じたときの対応策を討議する
1432				インシデント、アクシデント報告の記載方法を説明できる
1433		薬局カウンターで学ぶ	患者・顧客との接遇	かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指導薬剤師と話し合う
1434				患者・顧客に対して適切な態度で接する
1435				疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる
1436				医師からの受診勧告を適切に行うことができる
1437			一般用医薬品・医療用具・健康食品	セルフケア/セルフヘルプのための一般用医薬品、医療用具、健康食品などを適切に選択・供給できる
1438				顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる
1439			カウンター実習	顧客が自らお尋ねで話ができるように工夫する
1440				顧客が必要とする情報を的確に把握する
1441				顧客との会話を通じて使用薬の効き目/副作用に関する情報を収集できる
1442				入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる
1443				疾病の予防及び健康管理についてアドバイスできる

1444				セルフディケーションのための一般用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給できる
1445				医師への受診勧告を適切に行うことができる
1446				患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる
1447		地域で活躍する薬剤師	在宅医療	訪問薬剤管理指導業務について説明できる
1448				在宅医療における医療廃棄物の取り扱いについて説明できる
1449				薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う
1450			地域医療・地域福祉	病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる
1451				当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる
1452				当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる
1453			災害時医療と薬剤師	緊急災害時における、当該薬局および薬剤師の役割について説明できる
1454			地域保健	学校薬剤師の職務を見聞し、その役割を説明できる
1455				地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる
1456				麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる
1457				日用品に係る薬剤師の役割について説明できる
1458				日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる
1459				誤飲・誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスできる
1460				生活環境における消毒の概念について説明できる
1461				話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる
1462			地域対応実習	日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる
1463				誤飲・誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスできる
1464				生活環境における消毒の概念について説明できる
1465				話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる
1466		薬局業務を総合的に学ぶ	総合実習	薬局業務を総合的に実践する
1467				患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を感じる
1468				薬が病気の治癒・進行防止を通じて、病気の予後とQOLの改善に貢献していることを感じる